

「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業

最先端の AI 基盤技術を様々な産業分野に早急に展開し、データ収集と AI 解析により価値創出を図るため、産学官のオープンイノベーションによる先進的利活用モデルの開発や国際標準化を推進し、新たな価値創出基盤となる「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」の構築と社会実装を推進する。

1 施策の概要

(1) 施策の背景、課題等

IoT により実空間とサイバー空間が高度に融合し、社会課題の解決、さらに産業構造の変革を図る「第 4 次産業革命」が想像を上回るスピードで進行しており、産学官の英知を結集した対応を喫緊に講じていく必要がある。

このような中で、我が国が国際競争力を確保していくためには、膨大な IoT により実空間の情報を収集し、そのビッグデータを AI で解析することで様々な産業分野で価値創出を図る基盤となる「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」の構築が極めて重要になっている。

(IoT: Internet of Things BD: Big Data AI: Artificial Intelligence)

(2) 施策の具体的内容、施策の目的を達成するための手段、方法

国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) 等が研究開発を行う最先端の音声処理、自然言語処理をはじめ、我が国の強みのある AI 基盤技術を様々な分野に早急に展開することで、データ収集と AI による解析で新たな価値創出を図ることが決定的に重要である。

このため、産学官のオープンイノベーションによる、人間と自在な対話が可能な次世代サービスの実現のような AI 基盤技術の先進的利活用モデルの開発やその国際標準化を支援することで、「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」の構築と社会実装を推進し、我が国の持続的な経済成長と国際競争力の強化を図る。

2 イメージ図

